

全国キャラバン研修会

ジェネラルナースの技術力を高めよう! 研修報告

—エビデンスに基づく離床の技—

第1回の全国キャラバン研修会を開催しました!! 事前申し込みは24名でしたが、インフルエンザ大流行の時期のため当日は18名の参加でしたが、皆さんやる気満々の楽しい研修会でした。その様子を報告します。



ポジショニング班



移動動作評価班

日時：平成31年1月26日(土)

10:00~15:30

(受付開始9:30~)

場所：京都学園大学

京都太秦キャンパス

京都市右京区山ノ内五反田町18



武田理事長より、開会のご挨拶をいただきました。



背面開放座位および腰痛予防対策を含む移動方法についてミニレクチャーが行われました



グループワークの様子



実践の様子



実践の様子



最後に修了証をもって記念撮影、お疲れさまでした。

参加者のアンケート集計結果 n=18

i 参加者の会員の有無	会員	非会員		
人数	3	15		
ii 職種	看護師	介護福祉士	看護助手	看護・介護 教員
人数	12	1	0	5
本研修会の内容について	大いによかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった
人数	12	6	0	0
<内容について> 大いによかった:12名 よかった:6名 よくなかった:0名	背面開放座位の有効性・エビデンスがよく理解できた			
	用具の購入は難しいので、用具がなくてもできる方法を理解できてよかった			
	座学だけでなく実技(実践)があったため、すぐに臨床で活かせると感じた			
	リフトなど使用したことのない機器を使用できていい経験となった			
	普段取り入れやすい看護技術(俵型の移乗、水平移動など)も合わせて実践出来たのでよかった			
	講義のあとに実践となっておりとてもよかった			
スライドシートは院内にあっても使いこなせていなかったが今回の実習で、効果的に使用ができる様になると思う				
<「エビデンスに基づく離床の技」 テーマについて> 大いによかった:13名 よかった:5名 よくなかった:0名	エビデンスに関心がある。学んだことで今後考え応用、再検討できると思う			
	臨床で実践するにあたり、そのエビデンスを学ぶことで、周囲に行っている意味を伝えることができる(他者への技術の伝達)			
	介護職の方にも大いに役立つテーマ。もっと広まっていったら良いと思う			
	腰痛予防も大切だが、患者をうまく移動する技を学生に指導できる移乗のコツをもっと知識・技術として学びたかった			
<今後取り上げてほしい 内容について>	ポジショニング: 枕など用具を用いた安楽なポジショニング、呼吸リハや体位ドレナージを含んだポジショニング、車椅子でのシーティング			
	トランスファー: 体格差に合わせた技、機器・用具の使用、腰痛予防			
	失語症に対するケア			
	廃用症候群を予防する看護技術			
	食事介助: 介護者とNS認識ちがい			
	清拭: 実習病院では薄いタオルで行っている。使いやすく保温性の高い布の様な物を是非研究してほしい			
	入浴介助のエビデンス			

全国キャラバン研修会に関するご意見ありがとうございました。
引き続き、実りある研修会開催に取り組んでいきたいと思っております。